

応用編

Workshop ワークショップ

『世界から飢餓を終わらせるための30の方法』

世界の飢餓と私の食





応用編
プログラム



- ◆ **START**
グループ分け
- ◆ **個人ワーク**
本を読んでキーワードをみつけよう
- ◆ **グループワーク①**
キーワードをまとめよう
- ◆ **グループワーク②**
世界でいま何が起きているのか考えよう
- ◆ **グループワーク③**
私たちにできることを考えてみよう



【START】

グループ分け

周りの人と声をかけ合いながら、自分のキーワードカードと同じテーマのカードを持っている人を見つけましょう



【個人ワーク】

本を読んでキーワードをみつけよう

それぞれの文章のキーワードを、
各自で付箋に書き出してみましよう



買い占められる
開発途上国の農地
05 (p26-29)



農地を奪うバイオ燃料
06 (p30-23)



貧しい人がより
貧しくなる貿易のしくみ
07 (p34-37)



投機マネーに翻弄される
食料価格
05 (p38-41)

【グループワーク①】

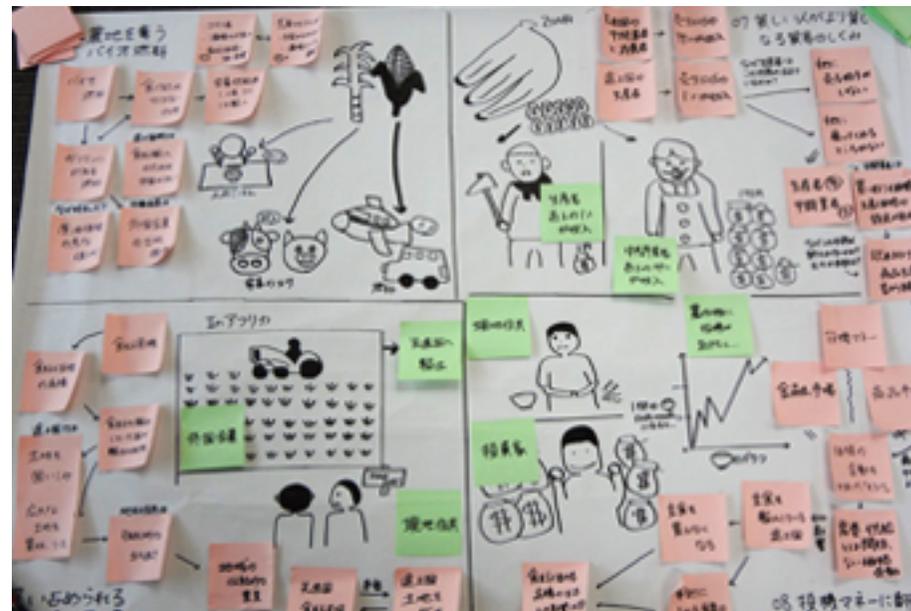
キーワードをまとめよう

キーワードをグループ内で発表して整理し、
話の流れを4コマにまとめてみましょう

① 付箋を整理



② イラストを描く



【グループワーク②】

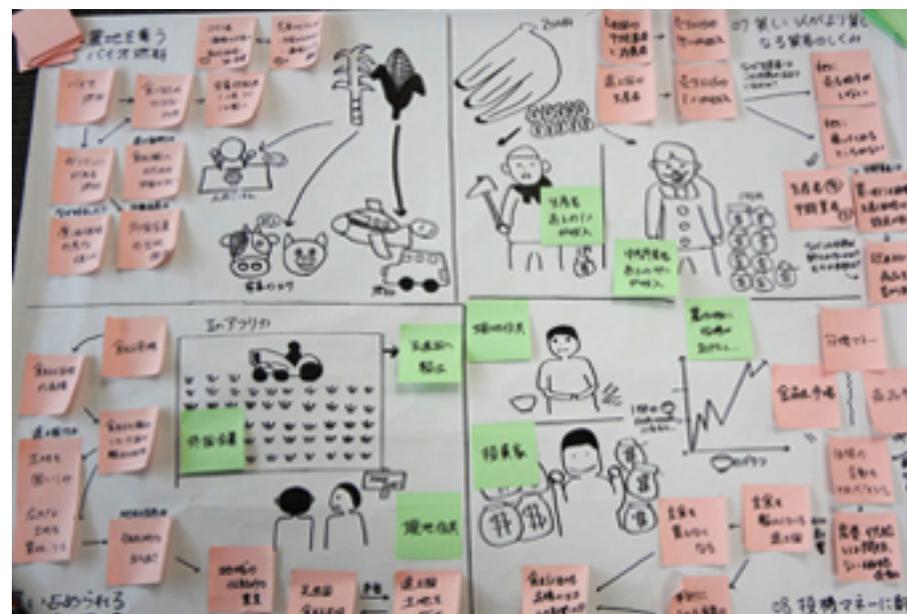
世界でいま何が起きているのか考えよう

発表を参考に、「私たちの暮らしや食生活とのつながり」という視点から
4コマにまとめてみましょう

① 付箋を整理



② イラストを描く





【グループワーク③】

私たちにできることを考えてみよう

模造紙にまとめた「世界でいま起きていること」を解決するために
どんなことができるのか、考えてみましょう

「できること」を考えるときのポイント

- ◆ 自分が総理大臣になった時に
できるような大きなことから
今すぐにできるような
小さなことまで
どんなことでも書いてOK

- ◆ 質より量
実現できるかどうかは考えず
思いついたアイデアは
すべて付箋に書き出し
模造紙に貼りましょう



食べ物は 十分にあります

世界で生産されている穀物を平等に分けたら、一人当たりの量は日本人が食べている量の約2倍です。

生活を左右する 国際市場の価格

食べ物を輸入に頼っている国が多い開発途上国。国際市場で価格が変動すると、影響を受けてしまいます。

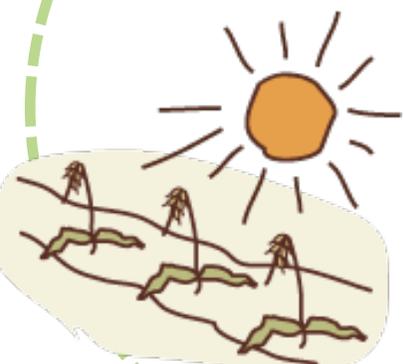
世界に頼る、 私たちの食

私たちが食べているものの半分以上が、海外から輸入されています。

半分が食べることに 以外に使われる穀物

世界で消費される穀物の約半分は、直接食べることに使われています。

世界とつながる、 私たちの食



食べ物の生産を 危ぶむ気候変動

雨水に頼った小規模の農業を行っている人が多い開発途上国。雨の降り方が収穫量を大きく左右します。



資源までも 奪われていく

先進国の中には、食べ物を生産するために必要な土地までも買い押さえようとする動きが出てきています。



世界中の 資源も消費

食べ物を生産するためには、土地や水などの資源が必要です。



大量に 捨てられる食べ物

日本では、まだ食べられたはずの食べ物がたくさん捨てられています。



 **hunger free world™**

食べる、生きる、明日を育む。

ハンガー・フリー・ワールド 



デザインボランティア：福澤明美／E.K イラストボランティア：Y.S

世界の飢餓と私の食

ふりかえりシート

1. 知ったことや気づいたことは何ですか？

2. 自分にはどんなことができると思いましたか？

05
買い占められる
開発途上国の農地

農地

06
農地を奪うバイオ燃料

バイオ燃料

07
貧しい人がより貧しくなる
貿易のしくみ

貿易

08
投機マネーに翻弄される
食料価格

投機

①

農地争奪戦

①

バイオエタノール

①

貿易の自由化

①

投資家

②

外国企業の
買収・リース

②

バイオディーゼル

②

低賃金の重労働

②

国際商品市場

③

土地の囲い込み

③

古くて新しい燃料

③

プランテーション

③

穀物先物市場

④

新たな
植民地主義

④

「地球にやさしい」
燃料?

④

関 税

④

金融危機

⑤

強制退去

⑤

地球温暖化対策?

⑤

ダンピング輸出

⑤

お金儲けのための
お金